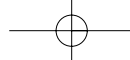


DVD PLAYER

DVD-P438J





安全上の注意

1. お使いになる前に

家庭でお使いの電源と本体のステッカーの表示内容が合うかどうか確認の上でご使用ください。換気（7~10センチ）のために本体の周りに十分なスペースをとり、しっかりとした台（家具など）の上に水平に本体を置いてください。通風孔が塞がれていないか確認してください。本体の上に何も置かないで下さい。本体が熱くなるようなアンプや他の機器を本体の上に置かないで下さい。本体を移動する際には、必ず本体からディスクを取り出して下さい。本体は連続使用できるように設計されています。長期間使用しない場合は安全および節電のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

2. 警告

本体を分解しないで下さい。人体や本体に対し危険です。感電したりレーザービームに接触する恐れがあります。目に危険なのでディスクトレイやプレーヤーの中のをのぞきこまないでください。

3. 注意

湿気や加熱を避け、本体を水気がかかるような場所、強い磁気がある場所、高熱の場所、電気が発生する場所から遠ざけてください。故障した場合はコンセントから電源プラグを外してください。本体は業務用ではなく家庭使用を目的として製造されています。本体の使用は個人使用のみにお使いください。プレーヤーやディスクが寒いところから急に暖かいところへ移動すると、内部に露が発生し、正常に動作しないことがあります。電源を入れたまま約2時間すれば正常な状態に戻ります。

4. ディスクの取り扱い

ディスクの取り扱いには注意してください。ディスクの取扱いは中央と端を持ってください。ラベルを上向きにして（片面ディスクの場合）ディスクを置いて下さい。付着した汚れは柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭き取るようにして下さい。使用後はディスクをディスクケースに入れて所定の位置に垂直に立てて保管してください。ガイドがついたトレイに正しくディスクを入れて保管してください。ディスクのお手入れにスプレー、ベンジン、静電気液体または他の溶剤などを使用しないでください。汚れがひどいときは柔らかい水気を含んだ布で拭いて下さい。再生中に雑音が生じる恐れがあるためディスクの表面を円を描くようには拭かないで下さい。

5. 環境について

本体のリモコンで使用している電池には環境に有害な化学薬品が含まれています。使用済みの電池は一般家庭のゴミと一緒に捨てないで下さい。古い装置および梱包材料の廃棄について：古い装置および梱包材料は、家庭ゴミとしてではなく、該当条列にしたがって廃棄してください。

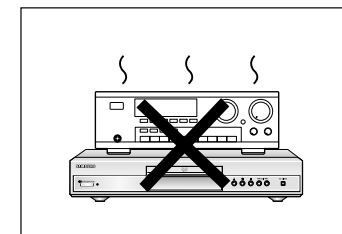
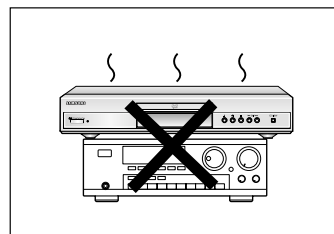
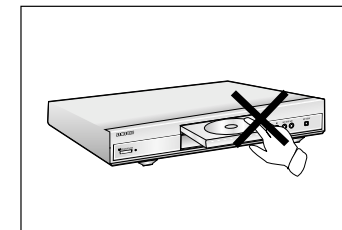
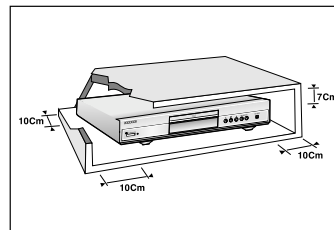
6. 本体のお手入れ

安全上のために、コンセントから電源プラグを抜いてください。

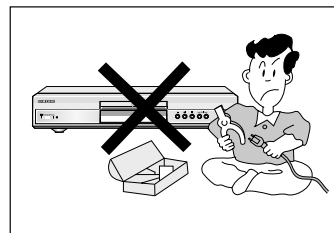
- お手入れの際に薄いベンゼンまたは他の溶剤を使わないでください。
- 柔らかい布で本体を拭いてください。

安全上の注意

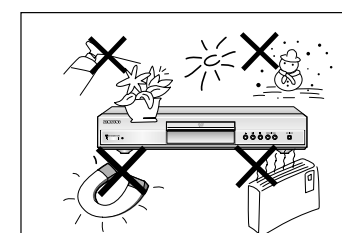
1



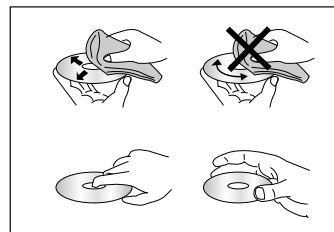
2



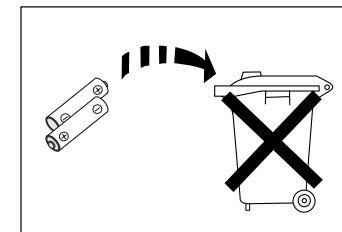
3

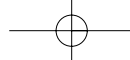


4

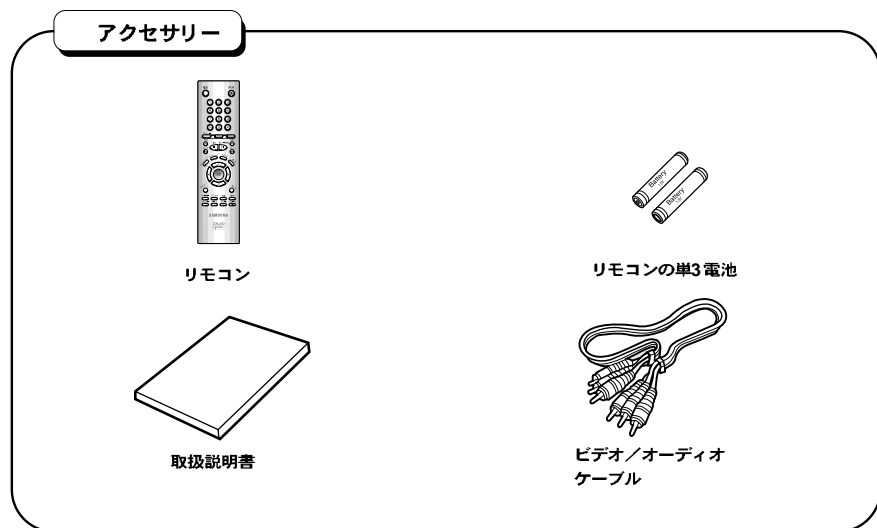


5





ご使用になる前に



単3電池の装着

- 1 リモコンの背面にある単3電池カバーを開けます。
- 2 電極(+、-)を合わせて、2個の単3電池を入れます。
- 3 単3電池カバーを閉じます。

リモコンが正常に作動しない場合

- 単3電池の電極(+、-)を確認します。
- 単3電池の寿命を確認します。
- 障害物がリモコンの受光部をさえぎっていないか確認します。
- 近くに蛍光灯がないか確認します。

目次

設定	
主な特徴	6
取扱いのご注意	7
再生できるディスクの種類	8
各部の名称とはたらき	10
本体背面	11
リモコン	12
接続	
AV機器とつなぐ	14
テレビとつなぐ	15
基本機能	
準備	16
ディスクの再生	17
頭出しとスキップ機能	19
表示機能	20
ディスクメニューおよびタイトルメニューの使用	21
Functionメニューの使用	22
リピート再生	23
応用機能	
縦横比の調整 (EZ View)	24
スローリピート再生	26
音声言語の選択	27
字幕言語の選択	28
カメラアングルの変更	29
I.リプレイルスキップ機能の使用	30
マーカー機能	31
ズーム&3Dサウンド機能	32
MP3/WMA再生時の注意事項	33
プログラム再生&ランダム再生	35
ピクチャCDの再生	36
設定メニューの変更	
設定メニュー (初期設定)	38
言語設定	39
音声設定	41
画面設定	42
パレンタルの設定	43
参照	
故障かな?と思ったら	44
用語説明	45
仕様書	47
保証書とアフターサービス	48

設定

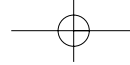
接続

基本機能

応用機能

設定メニューの変更

参照



主な特徴

音声言語が選択できます。

DVDに収録された複数の音声言語からお好みの言語を選択することができます。(27ページ)

字幕言語が選択できます。

DVDに収録された複数の字幕言語から選択することができます。(28ページ)

アングルを選択することができます。

DVDに収録された複数のアングルからお好みのアングルを選択することができます。(29ページ)

ズーム機能搭載

お好みの場所をズームアップして見ることができます。(32ページ)

D1/D2 映像出力を装備

DVDに記録される輝度(Y)信号と色差(Pb/Pr)信号をダイレクトに出力するD1/D2映像出力を装備。テレビ側にD1/D2入力端子が装備されている場合は、この端子を使用することによりさらに鮮明な映像を引き出します。(D1/D2端子ケーブルは付属していません。)

迫力あるサウンドが味わえるドルビーデジタル/DTS対応

5.1チャンネルで収録された映像/音楽ソフトを臨場感豊かに再現します。

EZ ビュー

EZビュー機能は、レターボックス画像を従来のTVのフルスクリーン表示に変えることができます。(24~25ページ)

注：ドルビーデジタル/DTSを楽しむためには別途対応アンプや光デジタルケーブル、スピーカー等が必要です。

プログレッシブスキャン

プログレッシブスキャンは従来のインターレース方式の2倍の走査線で高画質映像を作り出します。

取扱いのご注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているため、本機を動かすと中のディスクを傷つけたり、内部部品を傷めたりする恐れがあります。

■ 移動する時

本機を移動する時は、中のディスクを必ず取り出し、ディスクトレイを閉じて下さい。

■ 設置方法

- 安定した場所を選び水平に設置して下さい。縦置は出来ません。又、上に物を乗せないで下さい。
- 磁気の影響を受けやすいテレビやカセットデッキ等からはなるべく離して設置して下さい。
- 熱を発生するアンプ等の機器の上にはのせないで下さい。
- ガラスドア付ラックに入れた時は、ガラスドアを開けたままりモコンの開/閉ボタンを押さないで下さい。

■ お手入れについて

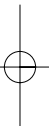
柔らかい布で空拭きして下さい。汚れがひどい時は5~6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたして絞った後、汚れを拭きとって下さい。その他の化学薬品やアルコール等を使用すると、印刷や塗装がはげることがあります。

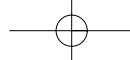
■ 著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、レンタル、公開演奏することは法律により禁じられています。
- 本製品には、Macrovision Corporationとその他が所有している知的財産権とアメリカの特許によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。著作権保護技術を使用するためには、Macrovision Corporationの許可が必要です。そして、Macrovision Corporationの許可がない限り、家庭と制限された視聴のみに限ります。変更や分解は禁止されています。

■ コピーガード

本機はコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキやビデオ一体型テレビに接続し、録画して再生すると正常な再生画面が映らない場合があります。





再生できるディスクの種類

- 本機は下表のディスクを再生することができます。
- 下表に表示されているマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用下さい。
- ヨーロッパなどのテレビ方式(PAL,SECAM)用のディスクは再生できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ 	DVDビデオ 12cm/片面	(MPEG 2方式) 1層 133分 2層 242分
	12cm/両面	1層 266分 2層 484分
	DVDビデオ 8cm/片面	(MPEG 2方式) 1層 41分 2層 75分
	8cm/両面	1層 82分 2層 150分
ビデオCD 	ビデオCD 12cm/片面	(MPEG 1方式) 74分
	ビデオCD 8cm/片面	(MPEG 1方式) 20分
CD 	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分

このプレーヤーは以下ディスクの再生できません。

- DVD-ROM・DVD-RAM
- CD-ROM・CDV、・CDI
- リージョンコードが本機と異なるDVDソフト(本機のリージョンコードは②です。)

プレー能力はレコーディングコンディションによります。

- DVD-R, +R・CD-RW
- DVD+RW, -RW

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。CD-G、CD-EXTRA、CD TEXTの場合、音声のみ再生できます。

<お知らせ>

- DVDビデオおよびビデオCDはソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので操作した通りに機能が働かないことがあります。

再生できるディスクの種類

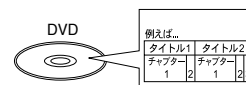
■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

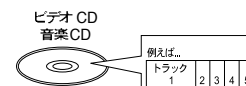
マーク	意味
	音声の数を表わします。
	字幕言語の数を表わします。
	アングル数を表わします。
	選択可能な画像アスペクト比を表わします。
	再生可能な地域番号を表わします。 本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。
	アメリカ、カナダ、韓国、日本などのNTSC放送システム
	ドルビーデジタルディスク
	ステレオディスク
	デジタルオーディオディスク
	DTS ディスク
	MP3 ファイルが含まれるディスクの再生もできます。

■ ディスクに関する用語の意味

- タイトル (DVD)
例えば、2本の映画が収録されたディスクは、タイトル1、2と番号で分けられています。
- チャプター (DVD)
タイトルをさらに区切ったものです。



- トラック (ビデオCD/音楽CD)
例えば、5曲の音楽が収録されたディスクは、トラック1、2、3、4、5と番号で分けられています。



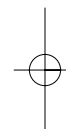
■ ディスクの取扱い

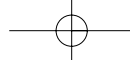
- ディスクの表面にふれたり、文字を書いたりしないでください。
ディスクに付いたほりやごみ、指紋はやわらかい布で拭いてください。必ず内から外へ拭いてください。



- よごしたり、傷つけたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや、温度、湿度の高いところに置かないでください。
- 落としたり、曲げたりしないでください。
- CD用スタビライザーを使用しないでください。
- 保管するときは、専用のケースに入れてください。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

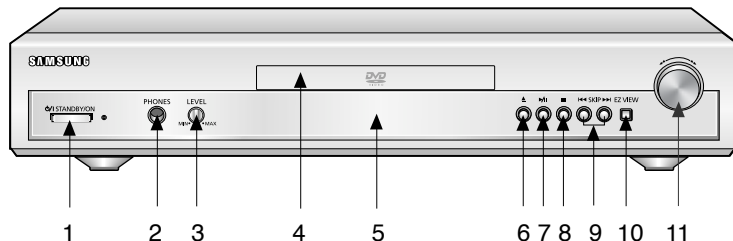




各部の名称とはたらき

本体背面

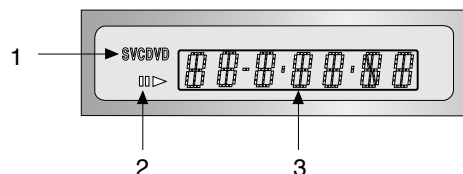
本体正面



前面パネルでの操作

- 1. STANDBY/ON**
 - 電源を ON/OFF します。スタンバイ(待機)時に赤色ランプが点灯します。電源 ON 時には赤色ランプが消灯します。
- 2. ヘッドフォン ジャック**
 - 個人的に音を楽しむ場合は、ヘッドフォンをここに差し込みます。
- 3. ヘッドフォンの音量**
 - ヘッドフォンの音量を調整するときに使用します。
- 4. ディスクトレイ**
 - OPEN/CLOSE ボタンでディスクトレイを開閉します。
- 5. 表示窓**
 - 動作状況を表示します。
- 6. OPEN/CLOSE**
 - ディスクトレイを開/閉するときに押します。
- 7. PLAY/PAUSE**
 - 再生を開始したり、一時停止するときに押します。再生中にこのボタンを押すと静止画になります。もう一度押すと再生を開始します。
- 8. STOP**
 - 再生中の映像や音声を止めます。
- 9. SKIP**
 - 映像や音声をスキップします。
- 10. EZ ビュー**
 - EZ ビュー機能は、レターボックス画像を従来の TV のフルスクリーン表示に変えることができます。
- 11. SHUTTLE DIAL**
 - 再生を速くまたは遅くします。

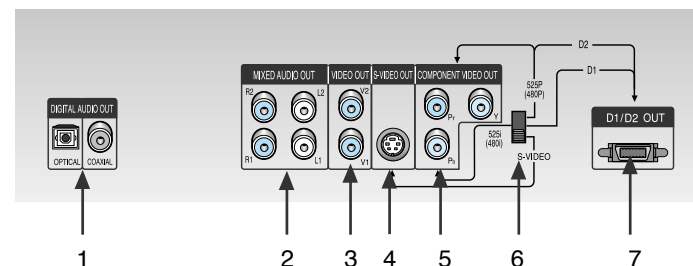
本体表示窓



前面パネルの表示

- 本機内部に入っているディスクの種類を表示します。
- 本機の動作状態を表示します。
- 経過時間や操作関連のメッセージ等を表示します。
no DISC : ディスクが入っていません。
OPEN/CLOSE : ディスクトレイを開きます/閉じます。
LOAD : ディスクの情報を読み出しています。
MENU : ディスクに収録されているメニュー画面を表示しています。

本体背面



背面パネル

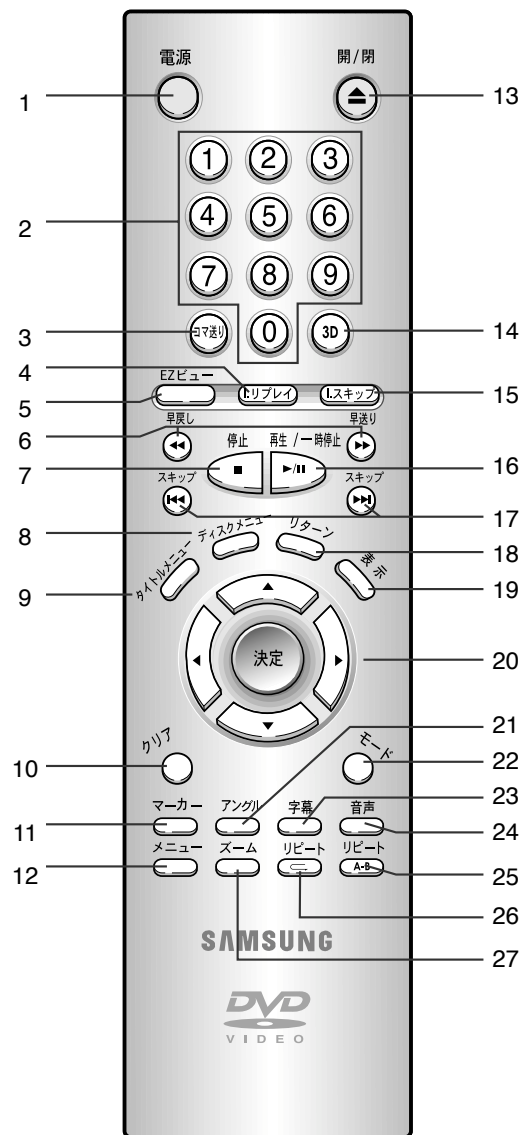
- 1. DIGITAL AUDIO OUT**
デジタル出力端子(同軸出力)
 - 光ケーブルや同軸ケーブルを使って、ドルビーデジタルやDTSデコーダーを内蔵したアンプに接続します。(14ページ)
- 2. ANALOG AUDIO OUT JACKS**
アナログオーディオ出力ジャック
 - お使いのテレビ、オーディオ/ビデオ、受信機、またはVCRのオーディオ入力ジャックに接続します。
- 3. VIDEO OUT**
映像出力端子
 - 付属のビデオケーブルを使用してテレビのビデオ映像入力端子に接続します。
 - VIDEO OUT SELECT スイッチをS-VIDEOまたは525P(480i)に切り替えてください。
- 4. S-VIDEO OUT**
S映像出力端子
 - S映像入力端子のあるテレビに接続するときに使用します。
 - この端子を使用するときは⑥VIDEO OUT SELECT スイッチをS-VIDEO側にします。
 - VIDEO OUT SELECT スイッチをS-VIDEOに切り替えてください。
- 5. COMPONENT VIDEO OUT**
コンポーネント映像出力(Y/Pb/P)端子
 - コンポーネント映像入力端子のあるテレビ等と市販のコンポーネント映像ケーブルを使用して接続します。この端子を使用するときは⑥VIDEO OUT SELECT スイッチをCOMPONENT (コンポーネント)側にします。
 - 525P(480P) VIDEOが選択されている場合、プログレッシブスキャンモードが使用できます。
 - 525i(480i) VIDEOが選択されている場合、インターレースモードが使用できます。
- 6. VIDEO OUT SELECT**
映像出力切換スイッチ
接続する映像出力端子を切り換えます。(S-VIDEO OUT/ COMPONENT)
 - 525P(480P) VIDEOが選択されている場合、VIDEOとS-VIDEOが使用できます。
- 7. D1/D2-VIDEO OUT**
テレビやモニターなどには、D1/D2端子が付いているものがあります。
この端子に接続すると、より高画質な映像が楽しめます。この端子を使うときは⑥VIDEO OUT SELECT D1-525i(480i)に切り替えてください。D2-525P(480P)に切り替えてください。

注意

- ご使用のテレビがプログレッシブスキャンに対応しているか、テレビに付属の取扱説明書で確認してください。プログレッシブスキャンに対応している場合は、取扱説明書に従ってプログレッシブスキャンの設定を行ってください。
- 525P(480P) VIDEO OUT が選択された場合、VIDEOおよびS-VIDEOは使用できません。



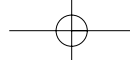
リモコン



リモコン

DVD 機能ボタン

- DVD 電源ボタン**
 - 電源をON/OFFします。
- 番号ボタン**
- コマ送りボタン**
 - 1度押すと一時停止します。繰り返し押すたびにコマ送り再生します。
- I.リプレイボタン (30ページ)**
 - 再生中にこのボタンを押すと、押した時点から10秒前に戻って再生します。
- EZ ビュー ボタン (24~25ページ)**
 - イージービュー機能は、レターボックス画像を従来のTVのフルスクリーン表示に変えることができます。
- 早送り/早戻しボタン**
 - 映像や音声を早送り/早戻しします。
- 停止ボタン**
 - 映像や音声の再生を止めます。
- ディスクメニューボタン**
 - DVDソフトのメニュー画面を呼び出します。
- タイトルメニューボタン**
 - DVDソフトの最上層のメニュー画面を呼び出します。
- クリアボタン**
 - メニュー画面などの表示を消します。
- マーカーボタン (31ページ)**
- メニューボタン**
 - 本機の設定画面を表示します。
- 開/閉ボタン**
 - ディスクトレイを開閉するときに押します。
- 3Dサウンドボタン (32ページ)**
- I.スキップボタン (30ページ)**
 - この機能を使うと10秒間の再生をスキップして先に進むことができます。
- 再生/一時停止ボタン (17ページ)**
 - ディスクを再生したり、一時停止するときに押します。
- スキップボタン**
 - 場面や曲の頭出しをします。
- リターンボタン**
 - メニュー画面で前の項目に戻ります。
- 表示ボタン**
 - ディスクの情報を表示します。
- 決定ボタン(上/下または左/右ボタン)**
 - このボタンは選択/決定ボタンとして機能します。
- アングルボタン (29ページ)**
 - DVDのアングルを切替えます。
- モードボタン (35ページ)**
 - CDではトラックを順不同に再生します。
- 字幕ボタン (28ページ)**
- 音声ボタン (27ページ)**
 - ディスクの様々なオーディオ機能にアクセスします。
- リピートA-B**
 - 再生中にこのボタンを押すと指定したA-B間を繰り返し再生します。
- リピートボタン (23ページ)**
 - DVDではタイトルやチャプターを繰り返し再生します。CDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。
- ズームボタン**
 - お好きな箇所をズームアップすることができます。(32ページ)



AV機器とつなぐ

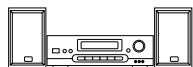
以下は、テレビやその他の装置にDVDプレーヤーを接続する時、一般的に使われている接続の例です。

DVDプレーヤーを接続する前に

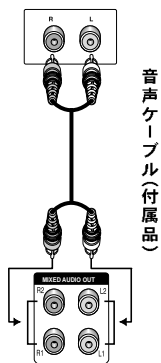
- ケーブルを接続したり、外したりする場合は、DVDプレーヤー、TVまたはその他の装置の電源を消してください。
- 特定装置に関する詳細な情報は、装置に添付されたマニュアルを参照してください。

オーディオシステムとの接続

方法 1

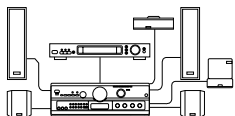


2チャンネルアンプ
オーディオ入力ジャック

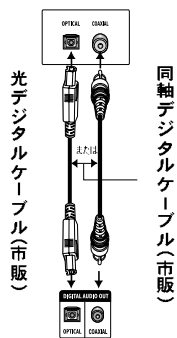


アナログオーディオ出力

方法 2



ドルビーデジタルデコーダー
デジタルオーディオ入力ジャック



デジタルオーディオ出力

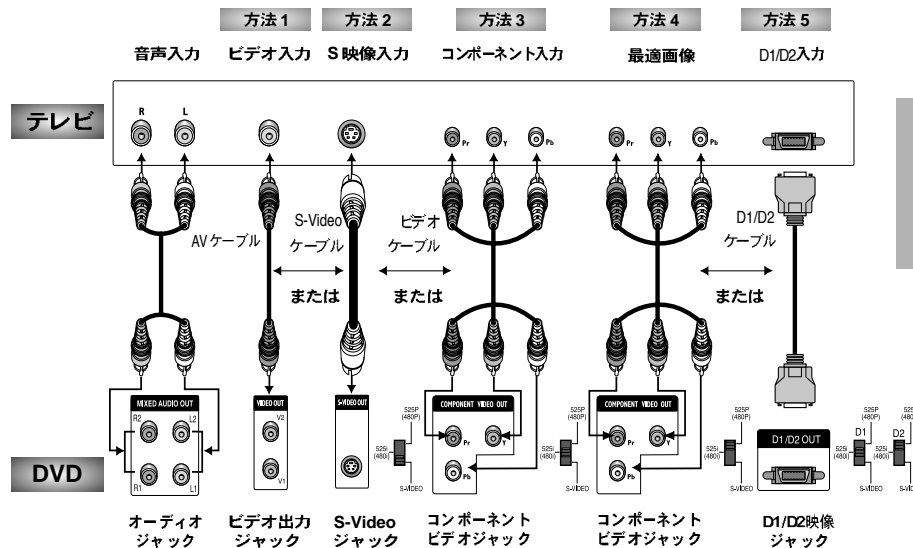
オーディオ

DVD

テレビとつなぐ

テレビ(ビデオ対応)との接続

ご使用のテレビ(標準、大画面、プロジェクションなど)との接続方法です。

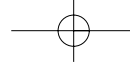


接続

- 方法 1 ビデオ入力ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(VIDEO OUT SELECT スイッチをS-VIDEOまたは525i(480i)に切り替えてください。)
- 方法 2 S映像入力ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(VIDEO OUT SELECT スイッチを525i(480i)に切り替えてください。)
- 方法 3 コンポーネントビデオジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(本機背面のVideo Out Select スイッチを525i(480i)に切換えます)(VIDEO OUT SELECT スイッチを525i(480i)に切り替えてください。)
- 方法 4 プログレッシブスキャンでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(VIDEO OUT SELECT スイッチを525P(480P)に切り替えてください。)
・525P(480P) VIDEO OUT が選択された場合、VIDEOおよびS-VIDEOは使用できません。
・テレビの種類によっては、方法 4 は図に示された接続方法と異なることがあります。
- 方法 5 D1映像ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(VIDEO OUT SELECT スイッチを525i(480i)に切り替えてください。)
D2映像ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(VIDEO OUT SELECT スイッチを525P(480P)に切り替えてください。)

参考

- ご使用のテレビがプログレッシブスキャンに対応しているか、テレビに付属のユーザーマニュアルで確認してください。プログレッシブスキャンに対応している場合は、ユーザーマニュアルに従ってプログレッシブスキャンの設定を行ってください。
- 525P(480P) VIDEO OUT に切り換えた場合、VIDEOおよびS-VIDEOは使用できません。



準備







映像の縦横比を選ぶ

本機と接続したテレビにあわせて、画面の比率（アスペクト比）を合わせます。DVDソフトの多くは16:9の比率で収録されています。このソフトを従来4:3テレビで見ると映像が縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、4:3テレビをお使いの場合は、次の設定を行ないます。

- 再生していない状態でリモコンの「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「画面表示設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「TV画面形状」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで設定したい画面形状を選び「決定」ボタンを押します。
 - 4:3 (レターボックス) : 従来サイズ(4:3)のテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。
 - 4:3 (パンスキャン) : 従来サイズ(4:3)のテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。
 - 16:9(ワイド) : ワイドテレビ(16:9)と接続したとき選択します。
- 「メニュー」ボタンを押して終了します。

従来サイズ(4:3)テレビにおける映像の見えかた

参考

DVDに収録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9 	4:3(レターボックス)	 上下に帯が付きませんが正しく見えます。
	4:3(パンスキャン)	 画面の左右の映像が切れますが正しく見えます。このように見たくない場合は4:3(レターボックス)を選択して下さい。
	16:9(ワイド)	 縦長に見えます。このように見える場合は4:3(レターボックス)か4:3(パンスキャン)を選択して下さい。
4:3 	4:3(レターボックス) 4:3(パンスキャン) 16:9(ワイド) どの設定でも	 正しく見えます。

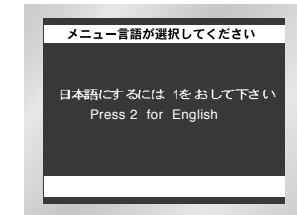
お知らせ

- 画面形状の切り換えが出来るか出来ないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットを確認して下さい。
- この設定は再生中には変更できません。

ディスクの再生

再生する前に

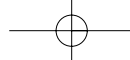
- 初めて使用するときには本機の電源ボタンを押すと、この画面が表示されます。
- 日本語にするときは1番を押します。
 - 英語にするときは2番を押します。
- 本機のメニュー言語が選択されます。



再生

- 「開/閉」ボタンを押します。「スタンバイ」表示灯が消えて、トレイが開きます。
- ディスクのラベルの面を上にして、トレイに置きます。
- 「再生/一時停止」ボタンや「開/閉」ボタンを押して、ディスクトレイを開めます。ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。その場合はリモコンの「▲▼」ボタンで項目を選び「決定」ボタンを押します。
- 再生を止めるときは再生中に「停止」ボタンを押します。
- ディスクを取り出すときは「開/閉」ボタンを押します。
- 一時停止をするときは再生中にリモコンの「再生/一時停止」や「コマ送り」ボタンを押します。
 - 画面と音が一時停止します。
 - 元に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンをもう一度押します。





ディスクの再生

7 コマ送り再生(CDを除く)をするときは、「コマ送り」ボタンか「再生/一時停止」ボタンを押して再生を一時停止した後、「コマ送り」ボタンを押します。

- ・「コマ送り」ボタンを押す度に新しい映像が表示されます。
- ・スローモードでは音が聞こえませんが、再生に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンを押します。(静止画面の再生は前の方向にしかできません。)

8 スローモーション再生(CDを除く)


- ・スローボタンを押してスローモーション再生速度(1/2,1/4,1/8)が選択できます。
- ・「再生/一時停止」か「コマ送り」ボタンを押して再生を一時停止します。
- ・「早送り/早戻し」ボタンを押してスローモーション再生速度(1/8、1/4、1/2)が選択できます。
- ・スローモードでは音が聞こえませんが、普通の再生に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンを押します。
- ・スローモーションの逆再生はできません。

リジューム機能

ディスクの再生を停止した場合、プレーヤーが停止した場所を覚えて、再び「再生」ボタンを押せば停止した場所から再生する機能です(ディスクを取り出したり、プレーヤーのプラグを抜いたりした場合はできません)。

リジューム機能を動かせない場合は、停止ボタンを2回押します。

参考

- ・一時停止モードで5分か過ぎると、プレーヤーは停止します。
- ・停止状態で約30分を過ぎると、電源が自動的に切れます(自動電源切断機能)。
- ・使用者の操作がなく1分以上停止状態が続くと、画面保護機能が働き、テレビの画面が明るくなったり、暗くなったりします。再生に戻る場合は、「再生」ボタンを押します。
- ・ マークのアイコンは押したボタンが無効であることを意味します。

頭出しとスキップ機能

再生中に、チャプターやトラックを検索したり、スキップ機能で次の選択まで飛ばすことができます。

チャプターやトラックの検索



1 再生中にリモコンの「早送り」や「早戻し」ボタンまたはシャトルダイヤルを回します。







- ・リモコンの「早送り」や「早戻し」ボタンを2回押して、好みの速度(2X/4X/8X/16X/32X/128X)でDVDを検索します。

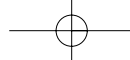
DVD	2X, 4X, 8X, 16X, 32X, 128X
VCD	4X, 8X
CD	2X, 4X, 8X

- ・一般速度の再生に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンを押します。

チャプターの頭出し

1 再生中に「 スキップ」や「 スキップ」ボタンを押します。

- ・DVDの再生中に「 スキップ」ボタンを押せば、次のチャプターへ移動します。「 スキップ」ボタンを押せば、チャプターの最初へ移動します。前のチャプターの最初へ移動する場合はもう一度ボタンを押します。
- ・「メニューオフ」モードのVCD 2.0、VCD 1.1、またはCDを再生中に、「 スキップ」ボタンを押せば、次のトラックに移動します。「 スキップ」ボタンを押せば、トラックの最初へ移動します。前のトラックの最初へ移動する場合はもう一度ボタンを押します。
- ・「メニュー」モードやトラック表示機能でVCD 2.0を再生中に「 スキップ」ボタンを押せば、次の「メニュー」や次のトラック表示画面へ移動します。「 スキップ」ボタンを押せば、前の「メニュー」や前のトラック表示画面へ移動します。



表示機能

DVD/VCD/CD の再生中に

- 1 再生中にリモコンの「表示」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンを使って希望する項目を選択します。
- 3 「◀▶」ボタンを使って、希望する設定を行います。
・リモコンの数字ボタンを使うと、タイトル、チャプタに直接アクセスしたり、または希望する時間に再生を開始することができます。
- 4 この画面を消すには、「表示」ボタンを再度押します。

タイトル ディスクに2つ以上のタイトルがある場合に、希望するタイトルにアクセスするために使用します。たとえば、DVDに2つ以上のムービーがある場合、各ムービーは識別されます。

チャプター ほとんどのDVDディスクは、特定のパスセージを素早く検索できるようにチャプタに分けて録音されています。

タイム 希望する時間にフィルムの再生を開始できます。参照する開始時間を入力しなければなりません。

音声 フィルムのサウンドトラックの言語を参照します。この例では、サウンドトラックは English 5.1CH で再生されます。DVDディスクには、最大8つの異なるサウンドトラックを記録できます。

字幕 ディスクの使用可能なサブタイトル言語を参照します。サブタイトルの言語を選択できます。また、必要なら、サブタイトルを画面から消すこともできます。DVDディスクには、最大32の異なるサブタイトルを記録することができます。

3D サウンドサラウンドサウンド効果は、わずか2つの正面のスピーカーを使用することで生成されます。

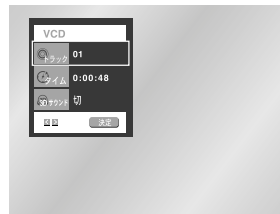
参考

-VCD2.0(「メニューオン」モード)モードの場合は、この機能が利用できません。

DVD



VCD



CD



参考

- ・チャプターとは?
DVDの各タイトルはチャプター別に分けられています(オーディオCDのトラックに似ています)。
- ・タイトルとは?
DVDにはいくつかの違うタイトルがあります。例えば、ディスクに4つの違う映画がある場合、各々の映画のタイトルと見なします。

ディスクメニューおよびタイトルメニューの使用

ディスクメニューの使用

- 1 DVDディスクの再生中に、リモコンの「メニュー」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンを使って「ディスクメニュー」を選択し、次に「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。



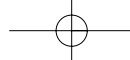
タイトルメニューの使用

- 1 DVDディスクの再生中にリモコンの「メニュー」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンを使って、「タイトルメニュー」を選択し、次に「▶」または「決定」ボタンを選択します。



参考

- ・ディスクによっては、タイトルメニューおよびディスクメニューが動作しないことがあります。
- ・タイトルメニューは、少なくとも2つのタイトルがディスクにある場合にのみ表示されます。
- ・タイトルメニューおよびディスクメニューは、リモコンの「タイトルメニュー」ボタンおよび「ディスクメニュー」ボタンを使って、使用することもできます。
- ・VCD2.0では、「ディスクメニュー」ボタンは、メニューオンモードおよびメニューオフモード間の切り替えスイッチとして動作します。



Functionメニューの使用

Function メニューの使用

- 再生中に「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って Function まで移動し、次に「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- Function の選択画面では、表示、ズーム、マーカー、リピート および EZ ビュー が表示されます。
 - 表示 (20 ページ参照)
 - ズーム (32 ページ参照)
 - マーカー (31 ページ参照)
 - リピート (23 ページ参照)
 - EZ ビュー (24~25 ページ参照)
- 「▲▼」ボタンを使って、5つの機能のうちの1つを反転させます。次に、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押してその機能にアクセスします。



参 考

- リモコンの各機能のボタンを使って、これらの機能を直接選択することもできます。

リピート再生

現在のトラック、チャプター、タイトル、選択されたセクション(A-B)を繰り返し再生します。

DVD の再生中に

- リモコンの「リピート」ボタンを押します。リピート再生選択画面が表示されます。
- 「◀▶」ボタンでチャプター、タイトル、またはA-Bを選択します。

A-B のリピート再生について

 - 「リピート」ボタンを押します。「◀▶」ボタンで画面のA-Bを選択するか、あるいはリモコンの「A-B」ボタンを使います。
 - リピート再生を開始する地点で「決定」を押します(A)。Bが自動的に反転されます。
 - リピート再生を中止する地点で「決定」を押します(B)。
 - リピート設定を解除しない限り、設定されたA-Bを繰り返します。
- 「決定」を押します。
- 一般再生モードに戻るには、「リピート」ボタンを押して「◀▶」ボタンで「切」を選択するか、「クリア」ボタンを押します。

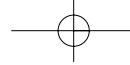


VCD/CD



参 考

- DVD の場合はチャプターやタイトル毎に再生を繰り返します。CDやVCDの場合はディスクやトラック毎に再生を繰り返します。
- ディスクによってはリピート機能が使用できない場合もあります。
- Bに到達する前にタイトルやトラックが終わった場合、タイトルやトラックの終りは自動的にBになります。
- VCD2.0 (「メニューオン」モード)モードの場合は、この機能が利用できません。



縦横比の調整 (EZ View)

縦横比を使って再生するには (DVD)

1 「EZビュー」 ボタンを押します。

- ボタンを繰り返し押すと画面のサイズが変化します。
 - 画面のズームモードの動作は、初期の設定メニューの画面設定に応じて変化します。
- 「EZビュー」 ボタンの正確な操作を確実に行うには、初期の設定で正しい縦横比を設定する必要があります (42 ページを参照)。

16:9 TV を使用している場合

① 縦横比が16:9 のディスクについて

- **ワイドスクリーン**
縦横比 16:9 で DVD タイトルのコンテンツを表示します。
- **スクリーンフィット**
画面の上部および底部が切り取られます。縦横比 2.35:1 のディスクを再生する場合、画面の上部および下部の黒いバーが消えます。ピクチャが上下に伸ばされて表示されます。(ディスクの種類によっては、黒いバーが完全に消えないことがあります。)
- **ズームフィット**
画面の上下左右が切り取られて、画面の中央部分が拡大されます。

② 縦横比が4:3 のディスクについて

- **ノーマルワイド**
縦横比 16:9 で DVD タイトルのコンテンツを表示します。ピクチャが左右に伸ばされて表示されます。
- **スクリーンフィット**
画面の上下が切り取られて、フルスクリーンが表示されます。ピクチャが上下に伸ばされて表示されます。
- **ズームフィット**
画面の上下左右が切り取られて、中央部分が拡大されます。
- **パーティカルフィット**
4:3 DVD が 16:9 TV で表示される場合、ピクチャが横に伸ばされて表示されるのを防ぐために、画面の左右に黒いバーが表示されます。

縦横比の調整 (EZ View)

4:3 TV を使用している場合

① 縦横比が16:9 のディスクについて

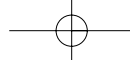
- **4:3 レターボックス**
縦横比が 16:9 で DVD タイトルのコンテンツを表示します。画面の上部および下部に黒いバーが表示されます。
- **4:3 パンスキャン**
画面の左右が切り取られて、16:9 画面の中央部が表示されます。
- **スクリーンフィット**
画面の上下が切り取られて、フルスクリーンが表示されます。ピクチャが上下に伸ばされて表示されます。
- **ズームフィット**
画面の上下左右が切り取られて、中央部分が拡大されます。

② 縦横比が4:3 のディスクについて

- **ノーマルスクリーン**
縦横比 4:3 で DVD タイトルのコンテンツを表示します。
- **スクリーンフィット**
画面の上下が切り取られて、フルスクリーンが表示されます。ピクチャが上下に伸ばされて表示されます。
- **ズームフィット**
画面の上下左右が切り取られて、中央部分が拡大されます。

参 考

- 機能の動作は、ディスクの種類によって異なります。



スローリピート再生

スポーツ、ダンス、楽器演奏などのシーンを、ゆっくりと繰り返して再生したいときに便利な機能です。

DVD をスローリピート再生するには

- 1 「再生/一時停止」ボタンを押します。
- 2 「早送り」ボタンを押してノーマルの 1/8X、1/4X、1/2X の速度を選択します。
- 3 「リピート A-B」ボタンを押してスタートしたいポイントを選択します。(A)
- 4 「リピート A-B」ボタンを押して終了したいポイントを選択します。(B)

参考

- 選択した速度で A から B のみ繰り返し再生されます。
- 機能を終わらせるときは、「クリア」ボタンを押します。
- A-ポイントを指した後、通常速度（表示窓に示されるタイム）で4秒過ぎただけ B-ポイントが明示されます。それまでは B-ポイントを選択できません。

音声言語の選択

「音声」ボタンで簡単に言語が選択できます。

「音声」ボタン

- 1 「音声」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで DVD の言語を選択します。
• 音声と字幕の言語が略語で表示されます。
- 3 「◀▶」ボタンで「ステレオ」、「右」、または「左」を選択します(VCD/CD)。

DVD

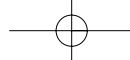


VCD/CD



参考

- ディスクにエンコードされた言語によっては、利用できない場合もあります。
- DVD ディスクでは最大8個の音声言語まで収録できます。
- IDVD を再生する場合に使う言語の設定方法は、ページ40の「言語設定」を参照してください。



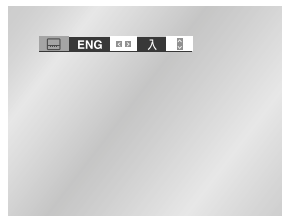
字幕言語の選択

「字幕」ボタンで簡単に字幕言語が選択できます。

「字幕」ボタン

- 1 「字幕」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで字幕の言語を選択します。
- 3 「▲▼」ボタンで字幕の表示または非表示を決めます。

- 初めは字幕が表示されません。
- 音声と字幕の言語は略語で表示されます。



サブタイトル カラーの変更

- 1 プレーヤーがプログレッシブ ビデオ モードの場合にのみ、モードボタンを押してサブタイトル カラーを変更できます。

参考

- ディスクにエンコードされた言語によっては、利用できない場合もあります。
- DVD ディスクでは32個の字幕言語まで利用できます。
- 「DVD を再生する場合に使う字幕言語の設定方法」は、ページ40の「言語設定」を参照してください。

カメラアングルの変更

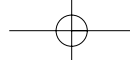
「アングル」ボタン

DVD の収録内容に様々なカメラアングルで撮った画面がある場合は、アングル機能が選択できます。アングル (📷) マークは画面上部の左にあります。

- 1 📷 が表示されていれば、「アングル」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで好きなカメラアングルを選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 表示された画面を消す場合は、「アングル」ボタンをもう一度押します。

※ 表示を消したい場合はリモコンの「クリア」ボタンを押してください。





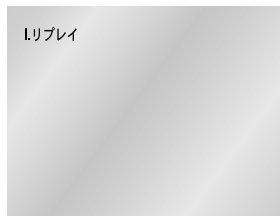
I.リプレイ/スキップ機能の使用

I.リプレイ機能の使用 (DVD)

DVDソフトを鑑賞中、ちょっと見逃してしまった場面などをこの機能で見直すことができます。

- 1 「I.リプレイ」ボタンを押すと、現在のシーンから約10秒前へ巻き戻され再生されます。

• ディスクの種類によっては、I.リプレイ機能が使えない場合がございます。



I.スキップ機能の使用 (DVD)

この機能を使うと、現在の場面から10秒間の再生をスキップして先に進むことができます。

- 1 「I.スキップ」ボタンを押します。

• 10秒間の再生をスキップして先に進みます。
• ディスクによっては、この機能が動作しないことがあります。

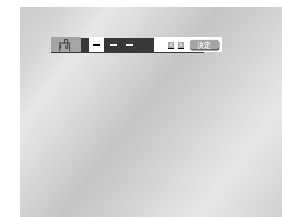


マーカー機能

マーカー機能でDVDやVCD(メニューオフモード)の一部を選択しておけば、後でその部分を簡単に検索することができます。

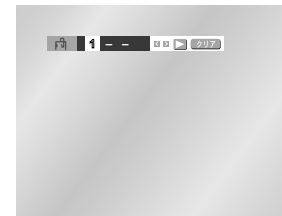
マーカー機能 (DVD / VCD)

- 1 再生中にリモコンの「マーカー」ボタンを押します。マークが表示されます。
- 2 「◀▶」ボタンでマーカーをアイコンへ移動します。
- 3 登録したい画面の時に「決定」ボタンを押します。アイコンが数字に変わります(1、2、3)。
- 4 「マーカー」ボタンを押して表示を消します。



登録された画面の再呼び出し

- 1 再生中にリモコンの「マーカー」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで登録された画面を選択します。
- 3 「再生/一時停止」ボタンで登録された画面にスキップします。



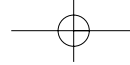
マーカーの削除

- 1 再生中にリモコンの「マーカー」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで削除するマーカー番号を選択します。
- 3 「クリア」ボタンでマーカー番号を削除します。「マーカー」ボタンを押して表示を消します。

参考

- 同時に3個の画面まで登録できます。
- VCD 2.0(「メニューオン」モード)モードの場合は利用できません。
- ディスクによってはマーカー機能が作動しない場合もあります。

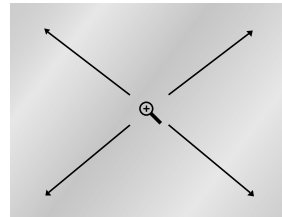




ズーム&3Dサウンド機能

ズーム (DVD / VCD)

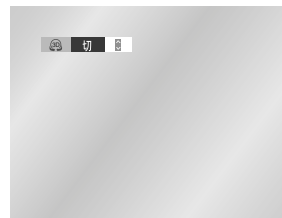
- 再生中、または一時停止モードで、リモコンの「ズーム」ボタンを押します。アイコンが画面に表示されます。
- 「▲▼」や「◀▶」ボタンでズームする画面の一部を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。
 - DVD再生中に「決定」ボタンを押して、X2 / X4 / X2 一般にズームします。
 - VCD再生中に「決定」ボタンを押して、X2 / 一般にズームします。



3D サウンド機能

本機能はアナログ出力の2チャンネルステレオDVDプレーヤーを使う時に便利です。(LPCM やDTS で録画したディスクでは利用できません。)

- 再生中に「3D」ボタンを押します。「3D」マークが表示されます。
- 「▲▼」ボタンで3Dサウンド機能を「入」と「切」に切り換えます。



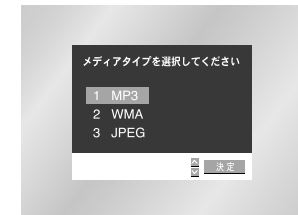
参考

- 3Dサウンドは「ドルビーサラウンド」や「ドルビーデジタル」で録画されたディスクでのみ可能です。しかし、一部のディスクには後部チャンネルサウンド信号がありません。
- ディスクによってはズームと3Dサウンド機能が利用できない場合もあります。

MP3/WMA 再生時の注意事項

DVD プレーヤーにMP3/WMA ディスクが挿入されると、最初のフォルダの1曲目が再生されます。

3つ以上のファイル拡張子がある場合は、メディアを選んで選択します。現在の再生メディアを変更するには、「停止」(■) ボタンを2回押し、次に「メニュー」ボタンを押します。リモコンのボタンが60秒の間に押されないと、メニューが消えて選択した項目が再生されます。



MP3/WMA 再生機能

- 最初のソングファイルを再生しているときに、ミュージックフォルダメニューが画面の右側に表示されます。同時に8個までのミュージックフォルダを表示することができます。9個以上のミュージックフォルダがディスクにある場合は、「◀▶」ボタンを押してそれらのフォルダを画面に表示します。
- 「▲▼」ボタンを使って音楽フォルダを選択し、「決定」(画面上では「決定」と英語表記)を押します。「▲▼」ボタンをもう一度押して曲を選択します。「決定」を押すと選択された曲が再生されます。



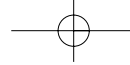
プログラム/ランダム再生

ランダムおよびプログラムモードを切り換えるには、「モード」ボタンを押します。これらのモードに関する詳細は、35ページを参照してください。



参考

- 音楽だけを連続して聴く場合は「リピート」ボタンを押し、リピート機能を解除する場合はそれを再度押します。
- プログラム/ランダム再生は、ディスクに2種類以上のファイル拡張子が含まれる場合は使用できません。



MP3/WMA 再生時の注意事項

CD-R MP3/WMA ディスク

CD-R/MP3 または WMA のディスクを再生している場合は、前記 CD-R に関するすべての推奨と、以下のコメントに従ってください。

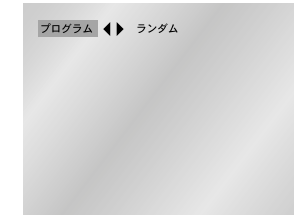
- ISO 9660 または JOLIET フォーマットのMP3やWMAファイルを使用してください。ISO 9660 フォーマットまたはJoliet MP3やWMA ファイルは、Microsoft 社のDOS および Windows、Apple 社のMac. に対応しています。現在この2 つが一般的に使用されているフォーマットです。
- MP3やWMA ファイル名は8文字以下、拡張子は".mp3.wma" に設定してください。通常ファイル名は、タイトルmp3やタイトル.wma の形式です。ファイル名を編集する際にはスペースや(、\、=、+)などの特別文字を含まない8文字以下の名前にします。
- MP3 ファイルを記録(エンコード)する際には、転送レートを128 kbps以上に設定し記録してください。MP3 の音質は基本的に記録(エンコード)時の転送レートによって異なります。オーディオCDの音質には、128kbps~160kbpsまでのサンプリングレートが必要です。ごくまれに192kbps以上の高い転送レートでより良い音質を得られる場合があります。
- WMA ファイルを録音している場合は、64Kbps 以上のデコンプレッション転送速度を使用します。WMA ファイルの音質は、基本的にユーザーが選ぶコンプレッション/デコンプレッション速度に依存します。オーディオ CD の高品質サウンドを確保するには、アナログ/デジタルのサンプリングレート、言い換えるとWMA フォーマットへの変換、が最低64Kbps から最大192Kbps 必要です。ファイルのデコンプレッションが、64Kbps 未満または192Kbps を超えていると、ファイルは適切に再生されません。
- 著作権で保護された MP3 ファイルのコピーはできません。特定の"保護された"ファイルは違法なコピーを防止するため暗号化およびコードにより保護されています。以下の種類がこのファイルに相当します: Windows Media™ (Microsoft Inc. の登録商標です) および SDMI™ (SDMI Foundation の登録商標です)。これらのファイルをコピーすることはできません。
- 重要: 上記の注意事項はこのDVDプレイヤーが正しく MP3 ファイルを再生すること、または音質の保証をするものではありません。一部のライティングソフトやドライブでMP3ファイルがCD-Rに記録された場合、これらのファイルがDVDプレイヤーで正しく再生されない場合があります。(音質の低下やプレイヤーがファイルを読み込まないなど)
- このユニットは、ディスク1つにつき最大500のファイルと300のフォルダを再生できます。

プログラム再生&ランダム再生

プログラム再生 (CD/MP3/WMA)

再生するトラックをお好みの順番に並べ替えて再生します。

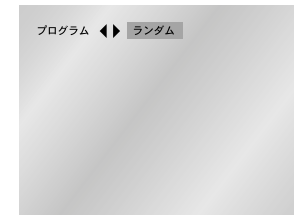
- 「モード」ボタンを押します。
- 「◀▶」ボタンで「プログラム」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 「◀▶」ボタンでプログラムに追加する最初のチャプター(またはトラック)を選択し、「決定」ボタンを押します。番号が「メモリー再生」ボックスに表示されます。
- 「再生/一時停止」ボタンを押せば、プログラムされた順序でディスクを再生します。



ランダム再生 (CD/MP3/WMA)

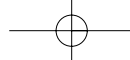
再生するトラックをプレーヤーがランダム(無作為)に再生します。

- 「モード」ボタンを押します。
- 「◀▶」ボタンで「ランダム」を選択し、「決定」ボタンを押します。










参考

- ディスクによってはプログラムとランダム再生が利用できない場合があります。
- 一般再生モードに戻る場合は、「クリア」ボタンを押します。
- プログラム/ランダム再生は、ディスクに2種類以上のファイル拡張子が含まれる場合は使用できません。
- このユニットは、最大99のプログラムオーダーもサポートできます。



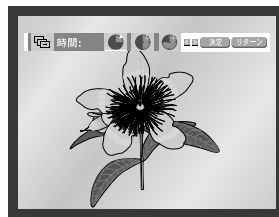
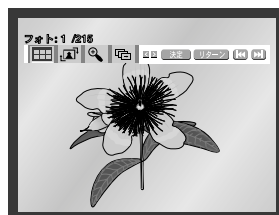
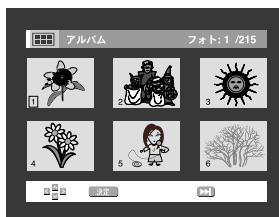
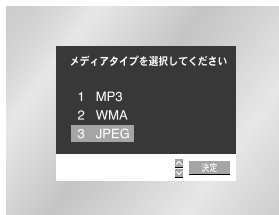
ピクチャCDの再生

- 1 ディスク トレーヤを開きます。
- 2 ディスクをトレーヤに入れます。
-ラベル付きの面を上向きにしてディスクを入れます。
- 3 トレーヤを閉じます。
-トレーヤが閉じられると、画面は以下ようになります。

- ・メニューのJPEG を選択してフォト CD を表示します。
- ・リモコンの「▲▼」ボタンまたは「◀▶」ボタンを使って、表示したいピクチャを選択し、「決定」ボタンを押します。(スライドショーモードでそれを再生したい場合は、再生/一時停止(▶||)ボタンを押します。)
- ・次の6枚のピクチャを見るには、「スキップ」▶▶ ボタンを押します。
- ・前の6枚のピクチャを見るには、「スキップ」◀◀ ボタンを押します。
- ・ : アルバム画面に戻ります。
メニューを再度表示するには、リモコンの「▲▼」ボタンまたは「◀▶」ボタンを押します。
- ・ : 「決定」ボタンを押すごとに、ピクチャが時計回りに90度回転します。
- ・ : 「決定」ボタンを押すごとに、ピクチャが最大4Xまで拡大されます。(標準→2X→4X→2X→標準)
- ・ : ユニットがスライドショーモードになります。
- ・「リターン」ボタンを押してアルバム画面に戻ります。
- ・スライドショーを開始する前に、ピクチャの間隔を設定してください。
- ・ : このアイコンを選択し、決定を押すと、ピクチャの間隔は自動的に約6秒に変わります。
- ・ : ピクチャの間隔が自動的に約12秒に変わります。
- ・ : ピクチャの間隔が自動的に約18秒に変わります。
- ・ファイルサイズによっては、画像間の間隔はマニュアルの記載時間より長くなったりまたは短くなることがあります。
- ・現在再生中のメディアを変更するには、「停止」(■)ボタンを2回押し、次に「ディスクメニュー」ボタンを押します。
- ・リモコンのボタンが60秒の間に押されないと、メニューが消えて選択した項目が再生されます。

参考

- ・「タイトルメニュー」ボタンを押して、アルバム画面に戻ります。
- ・「リターン」ボタンを押して、スライドショーに戻ります。
- ・リモコンのボタンが10秒の間に押されないと、メニューが消えます。
メニューを再度表示するには、リモコンの「▲▼」ボタンまたは「◀▶」ボタンを押します。

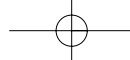


ピクチャCDの再生

CD-R JPEG ディスク

- ・".jpg" 拡張子および".JPG" 拡張子が付いたファイルだけが再生可能です。
- ・ディスクが閉じられていないと、再生開始により多くの時間がかかります。また、記録ファイルの中で再生されないファイルがでてくることもあります。
- ・ISO 9660 または Joliet フォーマットの JPEG ファイルを含む CD-R ディスクだけが再生可能です。
- ・JPEG ファイルの名前は、8文字以下でなければなりません。スペースおよび特殊文字(. / = +) は使用できません。
- ・連続して書き込まれたマルチセッションディスクだけが再生可能です。マルチセッションディスクにブランクのセグメントがあると、ディスクはブランクのセグメントのところまでしか再生できません。
- ・最大500の画像を1枚のCDに記録できます。
- ・Kodak Picture CD だけが再生可能です。
- ・Kodak Picture CD を再生している場合は、ピクチャフォルダのJPEG ファイルだけが再生可能です。
- ・Kodak Picture CD 以外のピクチャディスクは、再生開始により多くの時間がかかったり、まったく再生できないことがあります。
- ・1枚のDiscのファイル数が500を超える場合は、500のJPEG ファイルだけが再生可能です。
- ・1枚のDiscのフォルダ数が300を超える場合は、300のフォルダの中のJPEG ファイルだけが再生可能です。





設定メニュー（初期設定）

設定メニューでは、DVD プレーヤーの言語やパレンタルの等級レベルの設定、またはお使いのテレビ画面のタイプに合わせる調整ができます。

- 再生していない状態でリモコンの「メニュー」ボタンを押します。「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」または「決定」ボタンを押します。



- 言語設定：言語の設定します。
- 音声設定：音声を設定します。(41 ページ参照)
- 画面表示設定：画面を設定します。(42 ページ参照)
表示する画面タイプを選択します。
- パレンタル設定：視聴制限を設定します(43 ページ参照)。
子供が暴力、アダルトなどのような不適当な映画を見ないように、親が必要なレベルを設定します。

- リモコンの「▲▼」ボタンで項目を選択します。

- 「決定」ボタンでサブ画面へ移動します。

設定が終了したら「メニュー」ボタンをもう一度押して終了します。

参考

- ディスクによっては一部の設定が利用できない場合もあります。

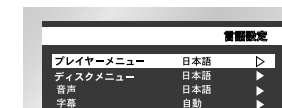
言語設定

プレーヤーメニュー言語、ディスクメニュー言語、音声、そして字幕言語を設定すれば、再生する度に自動的に起動します。

プレーヤーメニュー言語を設定する

- 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」または「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「言語設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「プレーヤーメニュー」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「日本語」を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。
 - 「日本語」が選択されれば、画面は「設定メニュー」に戻ります。
 - 「言語設定」画面を消す場合は、「リターン」ボタンまたは「左」ボタンを押します。

e.g 日本語設定



ディスクメニュー言語を設定する

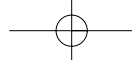
ディスクメニュー画面のテキスト言語を変更する機能です。

- 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「言語設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「ディスクメニュー」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「日本語」を選択します。
 - 一覧に言語がない場合は「その他」を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。
 - 「日本語」が選択されれば、画面は「設定メニュー」に戻ります。

e.g 日本語設定



設定メニュー
の変更



言語設定

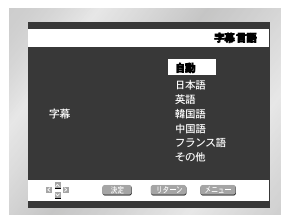
音声言語を設定する

- 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「言語設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「音声」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「日本語」を選択します。
 - 基本サウンドトラック言語をディスクに録画された言語に設定する場合は、「オリジナル」を選択します。
 - 一覧に言語がない場合は「その他」を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。
 - 「日本語」が選択されれば、画面は「設定メニュー」に戻ります。



字幕言語を設定する

- 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「言語設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「字幕」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「自動」を選択します。
 - 「自動」を選択すればディスクの基本言語が表示されます。
 - 一覧に言語がない場合は「その他」を選択します。
 - 一部のディスクには、初期言語として選択した言語がない場合もあります。ディスクに選択した言語が収録されていない場合はディスクで設定されている言語が選択されます。
- 「決定」ボタンを押します。
 - 「字幕言語」が選択されると、画面は「設定メニュー」に戻ります。



参考

- 選択された言語がディスクの言語と違う場合は、以前の言語が選択されます。
- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンまたは「左」ボタンを押します。

音声設定

- 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンを使って「音声設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。



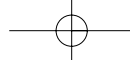
- デジタル音声出力
PCM : PCM(2CH)に変換
48kHz/16BitのリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器(TV、ステレオアンプ等)と接続したときに選択します。BITSTREAM : ドルビーデジタルBITSTREAM-5.1CHにコンバートします。
デジタルオーディオ出力を使用する場合はビットストリームを選択します。

注意 : デジタル出力の選択やオーディオ状態を確認します。
Multi Channel Output が Digital を選択する場合、Dolby & MPEG-2 Digital Out が動作します。

- DTS
入 : 接続したアンプがDTS対応の場合は設定を「オン」にします
切 : DTSに対応していないアンプと接続したときに設定を「オフ」にします。
- Dレンジ調整ダイナミックレンジ(小さい音と大きい音の音量差を抑えることができます。
入 : ダイナミックレンジを抑えて再生します。小音量で楽しみたい時に音が聞きとりやすくなります。
切 : DVDビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。
• Dレンジ調整機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスク再生時のみ働きます。また3D機能が動いているときは働きません。
- PCM 出力
入 : プレーヤーに接続されたアンプが96kHz 互換でない場合に、これを選択します。
この場合、96kHzのシグナルは48kHzにダウンコンバートされます。
切 : プレーヤーに接続されているアンプが96kHz 互換である場合に、これを選択します。

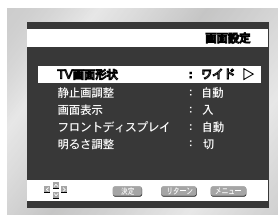
参考

- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンまたは「左」ボタンを押します。
- 本製品のオーディオ機能は、Desper Products, Inc.のSpatializer®とDesper Products, Inc.の商標であるcircle-in-square deviceの使用許可に基づいて製造されています。
- Dolby 研究所の使用許可に基づいて製造されています。「Dolby」とdouble-D表示はDolby研究所の商標です。機密で公開されていません。©1992-1997 Dolby Laboratories Inc. All right reserved.
- 「DTS」と「DTS Digital Out」は、Digital Theater Systems, Inc.の商標です。



画面設定

- 1 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 3 「▲▼」ボタンを使って「画面表示設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 4 「▲▼」ボタンで選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。



① TV画面形状(16ページ参照)

お持ちのテレビのタイプによっては、画面比率(アスペクト率)を調整する必要があります

① 4:3レターボックス:

テレビが4:3の画面であっても、16:9の画面のDVDを見る場合はこれを選択します。
黒いバーが画面の上と下に表れます。

② 4:3 パンスキャン:

テレビが4:3であっても画面全体で見る場合はこれを選択します。(映画画面の左右の一番端は削除されます。)

③ 16:9ワイド:

ワイド画面のテレビでは16:9の画面が全部見えます。

② 静止画調整

静止画調整では画面の揺れを押さえて、小さいテキストをより鮮明に表示します。

- ① フィールド : 静止画状態のとき画像のブレをなくします。
- ② フレーム : 通常モードです。
- ③ 自動 : 「自動」が選択されている場合は、「フィールド/フレーム」モードを自動的に切り替えます。

③ 画面表示

画面に出る機能表示をオンまたはオフする時に使います。

④ フロントディスプレイ

製品の表示窓の輝度を調整します。

- ① 明 : 表示窓を明るくします。
- ② 暗 : 表示窓を薄暗くします。
- ③ 自動 : DVDを再生する場合、前面表示を自動的に薄暗くします。

⑤ 明るさ調整

画面の輝度を調整します。

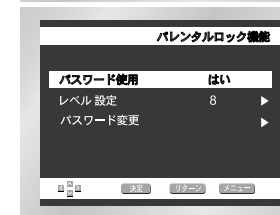
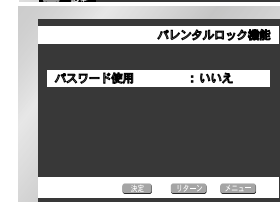
参考

- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンまたは「左」ボタンを押します。

パレンタルの設定

パレンタルは、等級が指定されているDVDで利用できます。家族が見るDVDの視聴制限を管理できます。当モデルには8等級レベルがあります。

- 1 再生していない状態で「メニュー」ボタンを押して、「設定メニュー」画面を表示します。
- 2 「▲▼」ボタンを使って「設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 3 「▲▼」ボタンを使って「パレンタル設定」を選択し、「▶」ボタンまたは「決定」ボタンを押します。
- 4 パスワードを使いたい場合は「▶」または「決定」を使用して「はい」を選択します。「パスワードを入力して下さい」画面が表示されます。
- 5 パスワードを入力すると、確認のための「パスワード再入力」画面が表示されます。もう一度パスワードを入力します。「パレンタル」画面が表示されます。



e.g レベル6に設定



等級レベルの選択方法は?

「パスワード使用」が「はい」に設定されている場合にのみ、「等級レベル」が利用できます。

「▲▼」ボタンで「等級レベル」を選択して、「決定」を押します。

・「▲▼」ボタンでレベル(例えば、レベル6)を選択して、「決定」を押します。

この場合、レベル7のディスクは再生できません。

プレーヤーのロックを解除するためには、「◀▶」ボタンで「いいえ」を選択します。

パスワードの変更

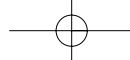
・「▲▼」ボタンで「パスワード変更」を選択すると、「パスワード変更」画面が表示されます。

・新しいパスワードを入力して、確認のために同じパスワードをもう一度入力します。

参考

- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンまたは「左」ボタンを押します。
- パスワードを忘れた場合は、「故障かな?と思ったら」の「パスワードを忘れた」を参照してください。





故障かな？と思ったら

困ったときや故障かな？と思ったらチェックしてみてください。
また、本機以外の原因も考えられます。AV アンプ、スピーカー、テレビなども合わせてお調べ下さい。
チェックしても直らないときは、お買い上げの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

問題	確認項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？
画面が映らない ディスプレイを 閉めても出てき 再生できない	<ul style="list-style-type: none"> 接続が正しいか確認してください。 テレビまたはAVアンプの設定をDVD再生の設定にしてください。 ディスクの裏表が正しく入っているか確認してください。 DVDのリージョンNoが一致しているか確認してください。 ディスクをクリーニングしてください。 P8「再生できるディスクの種類」を確認して下さい。
画面が止まり、 操作ボタンを受 マークが出る	<ul style="list-style-type: none"> 停止ボタンを押して、コンセントを一度抜いてもう一度再生してください。 ディスク自体がその操作を禁止しているか、プレーヤーがその操作を禁止しています。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの電池を新しいものと交換してください。(付属の電池は保管状態などにより早めに消耗することがあります) 蛍光灯などが近くにありその光が表示窓に入るとリモコンが効かなくなったり、誤動作を起こすことがあります。なるべく光が入らないところに設置し直して下さい。
スピーカーから音が 出ない、歪む	<ul style="list-style-type: none"> 音声ケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。 一時停止またはスロー再生になっていたら再生してください。 テレビまたはAVアンプの音量が下がっていませんか？ DVD収録のDVDの音声はデジタル出力端子のみから出されます。DVD対応アンプまたはデコーダーのデジタル入力端子へ接続してください。DVD対応アンプなど接続されていないときはDVDソフトのメニュー画面でデジタル音声出力を切替えてください。 接続端子の差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。 接続端子が汚れていたら拭き取ってください。
DVDとCDで音量差がある DVD再生中に画像が 乱れる、または暗い	<ul style="list-style-type: none"> ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。 本機はコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した時、一部画像に縞模様が入る場合がありますが故障ではありません。
DVD映像をビデオに録画し たり、ビデオを通して 再生すると画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> コピー禁止信号が入っているソフトを再生すると正常に再生できません。本機を直接テレビに接続してください。 静電気など、外部からの影響により正常に動作しないことがあります。
その他	<ul style="list-style-type: none"> そのようなときは、電源コードを抜き差しすることで正常動作する場合があります。
パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを入れずに開始から電源オンを押します。前面パネルの「停止」と「再生」ボタンを同時に3秒間押し、「メニュー-言語選択」画面を表示させます。言語ボタンを選択します。リモコンの「メニュー」ボタンを押して、「パレンタル」を選択します。「パレンタル」がロックされていれば解除します。「ダウン」ボタンで「パレンタル」を選択して、「決定」を押します。「パスワード作成」画面が表示されます。等級レベルの設定とパスワードの変更ができます。

用語説明

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。広がった臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

コンポーネント映像出力

Y/Pb/Prの3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限

暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル(大小)が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないうち再生ができなくなります。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記録されていますと、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。タイトル番号を選んで再生することができます。

ダイナミックレンジ

歪みなく信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。
単位はデシベル (dB) を使います。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けしたナンバーのことです。本の「章」番号に相当します。ディスクにチャプター番号が記録されていると、希望の場面をすばやく見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映像館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプのデジタル入力端子を接続することが必要です。

光デジタル出力

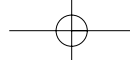
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります。)

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。



用語説明

仕様書

マルチ音声言語

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記憶することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.

DVDのプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です。(本体後面部に表記されています。)

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。

DTSディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続する必要があります。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

PCM

Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDやDVDのデジタル音声はPCMです。

使用環境	電源	AC 100V、50/60Hz
	消費電力(待機時)	12W (3W)
	重量	2.4kg
	寸法	幅 430mm × 奥行き 240mm × 高さ 60mm
	温度	+5°C - +35°C
ディスク	DVD (デジタル多目的ディスク)	読み出し速度: 1.1m/sec 再生時間 (単面、単層ディスク): 135分
	CD: 12cm (コンパクトディスク)	読み出し速度: 1.2 - 1.4m/sec 最高再生時間: 74分
	CD: 8cm (コンパクトディスク)	読み出し速度: 1.2 - 1.4m/sec 最高再生時間: 20分
	VCD: 12cm	読み出し速度: 1.2 - 1.4m/sec 最高再生時間: 74分(ビデオ+オーディオ)
	ビデオ出力	映像出力 コンポーネント
S-VIDEO		輝度: 1.0Vp-p (75Ω) 色信号: 0.286Vp-p (75Ω)
オーディオ出力	2チャンネル	L(1L)、R(1R)
	周波数	48kHz: 4Hz - 22kHz 96kHz: 4Hz - 44kHz
	*S/N比(デジタル音声)	110dB
	ダイナミックレンジ(デジタル音声)	100 dB
	*全高調波歪率	0.004 %

*: 公称仕様

本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

- 保証書（別に添付してあります。）必ず「販売店名・保証期間」をご確認のうえ、購入店からお受取りいただき、よくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間—お求めの日から1年間
ただし、ビデオヘッド・各種ベルトは消耗部品です。業務用にご使用の場合、あるいは特種使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」となります。
- 保証期間中、修理を依頼されるとき
この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお直らないときには購入店に保証書を添えて修理を依頼してください。保証書の記載内容により購入店が修理いたします。
- 保証期間経過後、修理を依頼されるとき
販売店にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。
- 補修用性能部品の最低保有期間
このビデオの補修用性能部品[※]（機能維持のために必要な部品）は、製造打切後最低8年間保有しております。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについて
ご不明な点はお買いあげの店又は、

日本サムスン株式会社
お客様ご相談ダイヤル **0120-327-527**

- に、お問合せ下さい。
- ご連絡いただきたい内容
- ご住所、ご氏名、電話番号
 - 製品名、品番、ご購入日
 - 故障または異常の内容
- ※ 配送、設置、接続は有料になります。
(販売店もしくはサービスセンターにご連絡下さい。)

長期間ご使用中のテレビ・ビデオは、点検を!!

愛情点検

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が乱れたり、色がきれいにでない。
- 画面が途中で消えたり、一部が欠けて映る。
- その他の異常や故障がある。

● ご使用中止 ●

電源を切り、プラグをはずして

必ずサービスセンターにご相談ください。

SAMSUNGの製品は、全国どこでもアフターサービスが受けられます。お買い上げの販売店、あるいは下記の本社サービスセンターにご相談ください。

お客様ご相談ダイヤル ☎0120-327-527 受付時間 平日(土日祭日を除く)9:00~17:00 関東：(03) 3683-0364(代) 東京サービスセンター
九州：(092) 413-1769(代) 福岡サービスセンター

日本サムスン株式会社

<p>関東 〒103-8488 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル16F TEL (03) 5641-9860 (代)</p>	<p>東京サービスセンター 〒136-0072 東京都江東区大島2-32-8 日本サムスン 東京サービスセンター TEL (03) 3683-0364 (代)</p>	
<p>九州 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル11F TEL (092) 413-1769 (代)</p>	<p>福岡サービスセンター 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1 日本生命博多駅前ビル11F TEL (092) 413-1769 (代)</p>	
<p>関西 〒540-6006 大阪府中央区城見1-2-27 クリスタルタワー6F TEL06-6949-4817 (代)</p>		

サービス代行協力店

製品の故障で修理が必要な場合は、下記においても修理を行っておりますので、お近くのサービス代行店にご依頼ください。
※お願い：製品に関する相談や取り扱いについては、必ず弊社サービスセンターにご相談ください。
※代行店・電話・所在地などについては、変更される場合がありますので、その節はご了承ください。

地区名	住所	電話番号	FAX
関東地区			
● 日本サムスン 東京サービスセンター 福岡サービスセンター	東京都江東区大島2-32-8 福岡市博多区博多駅前3-2-8	(03) 3683-0364 (092)413-1991	
北海道地区			
K-サービス札幌 テクニカルショップイシイ デンキのヤエガシ 飯野デンキ 北海道リペアセンター 西若電気商会	札幌市東区東苗穂13条2-1-13 函館市富岡町 3-30-19 旭川市神楽岡2条5丁目2-3 帯広市西1条1北2-47-23 室蘭市中央1-4-3 北見市北栄町110-33	(011) 792-3071 (0138) 43-3858 (0166) 65-1387 (0155) 34-2026 (0143) 44-8039 (0157) 24-6339	(011) 792-3071 (0138) 43-3901 (0166) 65-7616 (0155) 36-8319 (0143) 44-8026 (0157) 24-6331
東北地区			
● 青森県 (株)アイヴィック八戸支店 ● 秋田県 アキデン商事 ● 岩手県 (株)アイヴィック盛岡本社 ● 宮城県 (株)アイヴィック仙台支店 ● 山形県 (有)山王電子サービス ● 福島県 秋田電化サービス	八戸市青葉1-14-7 秋田市仁井田湯中町9-12 盛岡市永井1-13-1 仙台市若林区卸町東1-1-60 酒田市松原南2-1-4 郡山市朝日1-20-30	(0178) 45-6792 (0188) 39-5676 (019) 638-5190 (022) 782-5290 (0234) 22-1832 (024) 923-2511	(0178) 45-6800 (0188) 39-6486 (019) 638-0742 (022) 782-5292 (0234) 22-1623 (024) 921-4727
甲信越地区			
● 新潟県 石井電気サービス (有)テクノアクセス ● 長野県 (株)トランジスタ長野 ATOMICフジワラ リーベック ● 山梨県 (有)安藤電化	新潟市東区東島4-21 上越市木田1丁目13-22 長野市上杉1-14-18 SBC通り 東筑摩郡四賀村会田591-5 諏訪郡下諏訪町1816-4 甲府市宝1-5-8	(025) 284-8293 (025) 526-5881 (026) 234-4141 (026) 364-2205 (026) 628-5187 (055) 224-3158	(025) 284-8293 (025) 526-5958 (026) 234-4142 (026) 628-5187 (055) 224-3159
関東地区			
● 茨城県 エリントテクノサービス ● 埼玉県 埼玉エスサービス (有)エフ・ディー・エス(FTS) 最上電線(有) アクセス首都圏サービス (株)ジェイティエヌ ● 千葉県 新日本ビデオ(株)千葉事務所 エリントテクノ サービス 千葉 サービス 小関家電代行サービス ● 東京都 サンセイAVサービス (株)A&Vテクニカル ビジュアルサポート ● 神奈川県 東京テクノ サービス(株) MKネットワーク エリントテクノ サービス 神奈川サービス (有)アライ電器	水戸市中河内町117 行田市小針2867-2 岩槻市上野3-3-2 越谷市南荻島1-1989-1 川口市新井町12-11 坂戸市仲町2-10 千葉市美浜区幸町1-2-2 桑田ビル4F 千葉県松戸市松戸1595 旭市に1905-11 板橋区双葉町1-11 八王子市絹ヶ丘1-3-9 八王子市石川町885-6 横浜市神奈川区六角橋5-6-42 横浜市戸塚区原宿1-11-3 大和市西鶴間2-25-22 横浜市港北区新羽町2037	(029) 227-5566 (048) 564-6141 (048) 794-6341 (048) 977-2443 (048) 225-7223 (049) 289-3763 (043) 241-0568 (047) 361-8335 (0479) 62-2143 (03) 3964-7186 (0426) 37-7773 (0426) 31-4558 (045) 481-8325 (045) 858-6204 (046) 272-2881 (045) 531-0145	(029) 227-0830 (048) 564-6141 (048) 794-6340 (048) 977-2482 (048) 225-7223 (049) 281-1974 (043) 242-5095 (047) 361-8335 (0479) 64-1277 (03) 3964-7186 (0426) 37-9950 (0426) 31-4559 (045) 488-4355 (045) 858-6204 (046) 272-2881 (045) 546-3439
東海地区			
● 静岡県 サンケイ 東海 (富) (有)カトウ電器 ヤスマツ電器 ● 愛知県 (株)エルテック ジェイティエヌ愛知 (有)オースリーツステム ● 岐阜県 住友サービス テクノエジェント飛騨 ● 三重県 大河内電化サービス エース修理工報DR.エツソン (有)つちやサービス	静岡市井宮町7-16 藤枝市大東町757-2 浜松市安松町1883-3 西春日井郡御勝町大字片場字大石62 丹羽郡扶桑町南山名別レ塚56-2 可児市中恵土2359-353 高山市石浦町7-36 四日市市堀木2-17-5 伊勢市小本町587-1 一志郡一志町大字片野154-3	(054) 252-1460 (054) 635-9020 (053) 464-4007 (0568) 23-8738 (0587) 93-7196 (0536) 22-4305 (0574) 23-0288 (0577) 34-9585 (0593) 54-0153 (0596) 31-1530 (059) 293-6161	(054) 252-5349 (054) 636-2152 (053) 464-8447 (0568) 25-2801 (0587) 93-7178 (0536) 22-4306 (0574) 23-0289 (0577) 34-9585 (0593) 54-0621 (0596) 31-1532 (059) 293-6140

地区名	住所	電話番号	FAX
北陸地区			
●石川県 (株)宇部電業 ●福井県 原田サービス	金沢市笠舞本町2-3-1 福井市北今泉町14-1	(076) 221-2175 (0776) 54-6273	(076) 221-2176 -
近畿地区			
●大阪府 (株)I.D.K (有)ユニオン通信サービス ●兵庫県 甲南クレセント 長谷川電器サービス 阪神サービス 御国電化サービス 信栄家電修理センター ●京都府 タイヨー 電化センター津田 (有)丸徳 ●奈良県 円山電気S.S. ●和歌山県 ソーゴ家電設備館 ソネダデンキサービス	門真市打越町30-16 箕面市船場栄1-15-8 神戸市東灘区甲南町4-10-10 神戸市北区山田町下谷上字柴山11 神戸市北区八多町附物859 姫路市御国野町御着709-1 姫路市飾磨区妻鹿1541-10 京都市右京区太秦安井辻ノ内町15 舞鶴市字浜2006-15 亀岡市篠町野イカノ辻南73-5 天理市岩室町212 和歌山市宇治敷下20-4 和歌山市葉428-2	(072) 885-0440 (072) 728-8875 (078) 451-1800 (078) 582-3512 (078) 982-6630 (0792) 53-3089 (0792) 47-2822 (075) 802-2451 (0773) 63-8822 (0771) 25-7067 (0743) 63-5169 (0734) 31-3185 (0734) 51-9581	(072) 881-3145 (072) 728-3647 - (077) 582-3512 (078) 982-6631 (0792) 52-5107 (0792) 46-1433 (075) 821-8662 (0773) 63-8368 (0771) 25-7067 (0743) 63-5169 (0743) 33-3258
中国地区			
●岡山県 (株)ソーデン社 ●広島県 (有)サービスセンター広島 (有)ユーヨー電機サービス 第一電化(株) ●鳥取県 ミツマル電気 Dr.ヒューズマン出雲本店 ●山口県 ライフ家電サービス	岡山市箕島2572-1 広島市中区光南3-12-17 広島市西区鞆音本町1-2-4 福山市沖野上町5-8-24 東伯都東伯町逢束761 出雲市高岡町388-1 玖珂郡周東町祖生6909	(086) 282-3900 (082) 247-1030 (082) 291-4171 (0849) 21-2099 (0858) 49-0033 (0853) 24-3140 (0827) 85-0891	(086) 286-8711 (082) 247-1045 (082) 232-2866 (0849) 26-4696 (0858) 49-0034 (0827) 85-0894
四国地区			
●香川県 (有)西蔵電子サービス (株)ソーデン社(高松営業所) ●徳島県 みの電子パーツ(株) ●愛媛県 濱電気サービス (株)ソーデン社 松山営業所 ●高知県 (有)中村電子サービス ソーデン社(高知営業所)	丸亀市土器町東3-12 高松市円座町258-1 徳島市中吉野町2-18-2 宇和島市 伊吹町東四区 松山市北土居町265 中村市不破1-29 高知市神田2384-6	(0877) 23-8546 (087) 885-6474 (088) 655-5958 (0895) 25-7371 (089) 969-6791 (0880) 34-3120 (0888) 32-6551	(0877) 22-3370 (087) 815-7686 (088) 655-5969 - (089) 969-6792 (0880) 34-1272 (0888) 32-0922
九州地区			
●福岡県 システム高木 テレビのお医者 福岡店 (有)九州AVサービス (有)オーディオサービスエンジニアリング ●長崎県 Dr.ヒューズマン長崎本店 ●熊本県 (有)有明電子サービス (有)電化サービス ●大分県 (有)テレビのお医者 佐伯店 テレビのお医者 津久見店 テレビのお医者 本店 テレビのお医者 大南店 (有)テレビのお医者 別府店 テレビのお医者 中津店 ●宮崎県 福岡電子サービス ●鹿児島県 電化ショップ東福 ●沖縄県 ホクト家電サービス フォークト沖縄(株)南海 ショップ シモジ家電サービス	福岡市博多区竹下5-22-5 福岡市東区二又瀬4-15 マサキビル3号 北九州市門司下二十町7-27 宗像郡福岡町手光1935 長崎市大橋町6-2 熊本市長嶽150 人吉市大工町24番地 佐伯市女島区9027-3 津久見中央町4-15 大分市津留1-3-15 大分市大 宇河原内4472-1 別府市石垣西7-1番45号 中津市新大塚780-3 宮崎市大工1-4-10 鹿児島市西伊敷4-12-12 浦添市前田127 浦添市港川1410 平良市西仲宗根120-1	(092) 472-8198 (092) 624-4433 (093) 391-8586 (0940) 43-7709 (095) 813-1710 (096) 380-7203 (0966) 22-2666 (0972) 23-7760 (0972) 82-7580 (0975) 58-2848 (0975) 96-1736 (0977) 23-6554 (0976) 24-3222 (0985)29-3458 (099)228-8486 (098)878-8672 (098)876-6322 (09807)2-8634	(092) 474-5299 (092) 624-4422 (093) 372-1524 (0940) 43-7712 (095) 813-1711 (096) 380-1977 (0966) 22-2575 (0972) 23-7760 (0972) 62-8886 - - (0977) 23-6554 - - - (098) 878-3071 (098) 879-4592 (09807) 2-8634